



キャンパス / 東京都江東区、埼玉県さいたま市 学生数 / 9,867人 設置者 / 学校法人芝浦工業大学 創立 / 1927年
 建学の精神 / 社会に学び、社会に貢献する技術者の育成
 学部 / 工、システム理工、デザイン工、建築
 大学院 / 理工学
 THE世界大学ランキング2026 / 1501+位、同日本大学ランキング2025 / 32位、同インパクトランキング2025 / 1501+位



奨学金制度の戦略的な拡充により 学生の多様化、研究力強化を推進

芝浦工業大学

中長期計画で掲げた重点項目達成に向け、戦略的な奨学金制度に取り組む
芝浦工業大学。課題と今後の展望について聞く。



財務部長 兼 経営戦略室長

石原 学

いしはらまなぶ ●三井住友銀行を経て、2022年に芝浦工業大学入職。財務部次長等を歴任、2024年より現職。財務部では財務課・経理課・募金課を管掌。経営戦略室では経営戦略、新規事業開発・中大連携、創立100周年記念事業・校史編集を管掌。

女子学生、地方学生の比率を高めて多様化

本学は、中長期計画において「ダイバーシティ推進先進校」を掲げています。その目標達成に向けて戦略的に力を入れているのが、独自奨学金の拡充です。

日本社会では、女性の技術者や研究者の割合が低く、男女共同参画が遅れている現状があります。この状況を改善し、教育・研究の多様性を重視する観点から女子学生比率を30%に上げる目標を設定。さまざまな施策を進めてきました。女子向けのイベントの実施や、入試における女子枠のほか、2022年度からは成績優秀な女子合格者に対し、入学金相当額(28万円)を給付する制度も導入。それらが功を奏してか、2025年度の新生における女子比率は約28%にまで上昇し、目標達成ま

であと一歩に迫っています。また、2023年度、地域課題を解決する人材の育成のため、関東圏外の出身者を対象とした「朝日に輝く奨学金」を新設。当初は指定校推薦の入学者を対象に年額50万円を給付する制度でしたが、国立大学併願層への拡大を視野に、対象者を一般選抜の成績優秀者に変更。給付額も学費負担が国立大学と同等になる110万円へと増額しました。これにより、地元国立大学と並ぶ有力な進学先として選択肢に入りやすくなりました。これには、地域の課題を肌で感じてきた学生が、本学で先端的な工学教育を受け、再び故郷へ戻り活躍するという「人材の還流」をつくる狙いもあります。

この奨学金は、地方部の多くの高校教員から好意的に受け止められています。対象者の多くが国立大学を第1志望としているため、歩留まりが課題ですが、「地方出身者を歓迎する」という強いメッセージを発信し続けることに意義があると考え、粘り強く取り組んでいきます。

を払拭するため、修士課程対象の「進学奨励給付奨学金」を新設。加えて、中長期計画の「グローバル理工学教育モデル校」に対応した給付奨学金「グローバル理工学人育成大学院給付奨学金」も新たに設けました。8割の院生が受給しています。

戦略やニーズに合わせた奨学金の最適化

インフレが進む中、独自奨学金の原資確保は重要な課題です。「朝日に輝く奨学金」には創立100周年記念事業募金のメニュー「地方学生支援資金」への寄付金を充てていますが、全てを賄えるわけではなく、大学の自己資金も投じています。新たな財源確保のため、安全性を重視した資産運用も本格的に行い、運用益を原資の一部に活用していく方針です。

健全な財務を維持するためには、戦略的に拡大すべき制度がある一方で、役割を終えたものは見直し、廃止を含めて検討する必要があります。学生のニーズを見極めて手厚く支援すべき部分を精査しつつ、大学の戦略に合わせて絶えず制度の最適化を図り、中長期計画の目標を達成する考えです。

学生の多様性確保に向けた主な独自奨学金

区分	奨学金名	対象者	時期	給付額	目的など
学部入学前	理工系女子支援奨学金	女子入学者(総合型・一般)	合格時	28万円	「教育も研究も、ダイバーシティの中でこそイノベーションが生まれる」という考えのもと、2027年の設立100周年には学部女子学生比率30%以上へ引き上げることをめざし、女子生徒の理工系進学支援を目的とした奨学金。
	朝日に輝く奨学金	地方出身者(一般選抜成績優秀者)	合格時	年額110万円	主に地方出身の優秀な入学者を学費減免により支援することを目的とする。国公立大学並みの授業料での修学が可能になる。
	創立80周年記念・松縄孝奨学金	一般入試成績最上位者	入学時	10万円	松縄梅美様(芝浦工業大学元事務部長松縄孝氏夫人)からの寄付を基金として、入学試験において成績優秀な者に奨学金を給付し、勉学意欲の高揚をはかることを目的とする。
学部入学後	創立100周年記念芝浦ファミリー入学減免	在学生・卒業生・教職員血縁者	入学後春学期	入学金(28万円)	創立100周年事業の一環として、血縁者に係る学費納入者の経済的負担を軽減し、芝浦ファミリーとして本学への帰属意識を高めることを目的とする。
	エスアイテック育英奨学金	文化会・体育会団体所属学生	春学期	年額12万円	株式会社エスアイテックからの寄附を原資として、人物、学業成績が優秀で意欲的に課外活動に参加していると認められる学生に対し給付し、勉学と課外活動を奨励することを目的とした奨学金。
	私費外国人留学生学費援助制度	学業優秀な留学生	春学期末	学業成績により異なる	本学に在籍する学部の優秀かつ経済的に修学困難な私費外国人留学生に対して、学費の援助を行い、外国人留学生の教育・研究活動の活性化を図るとともに本学の国際化の充実に貢献することを目的とする。
大学院入学前・入学後	芝浦工業大学育英奨学金	学部学業優秀者	秋学期末	学科により異なる	本学卒業生である故粕谷満辰氏ならびに芝浦工業大学後援会からの寄附を基金として給付する奨学金。
	修士課程進学奨励給付奨学金	本学学部から修士課程進学者(2026年4月以降)	学科推薦出願時	年額60万円 / 30万円 / 20万円	芝浦工業大学の優秀な学部学生が、本学大学院へ進学する場合の経済的支援を行うことを目的とする。
	グローバル理工系人材育成大学院給付奨学金	修士課程進学者(TOEIC基準有)	入学時 / 在学時選考	年額30万円 / 40万円	芝浦工業大学のグローバル理工系人材育成の推進及び本学学部学生、卒業生の大学院進学の促進を目的とする。
	博士(後期)課程給付奨学金	本学修士から博士進学者	博士課程出願時	A:学費全額相当 B:学費半額相当	理工学研究科修士課程に在学する学生のうち、本学理工学研究科博士(後期)課程への進学を希望する者に対する支援として給付する。
	博士(後期)課程留学生給付奨学金	海外大出身博士進学留学生	博士課程出願時	学費全額 + 国費給付相当	世界に学び、世界に貢献する人材育成を目的として、芝浦工業大学大学院理工学研究科に海外から入学する留学生に係る学費と生活資金として奨学金を給付する。
校友会大学院博士(後期)課程女性研究者育成奨学金	本学修士から博士進学者(女性)	博士課程出願時	年額100万円を採用人数で分割	校友会の支援により、女性研究者育成を促進するため、芝浦工業大学大学院理工学研究科博士(後期)課程に進学する女性で、将来、本学の教育研究活動に貢献する意思を持つ者に奨学金を給付することを目的とする。	

注

ふるさと納税の仕組みを参考にした返礼品付きの寄付制度で卒業生とのつながりを創出

芝浦工業大学は、2021年度から返礼品付き寄付制度「SHIBAURA GIFT」を設けている。返礼品は大学に関係のある商品が大半で、教員の産学連携がきっかけで生まれた製品や、大学オリジナルグッズなど多岐にわたるが、特徴的なのはその多くが卒業生に関連する商品である点だ。例えば、卒業生が経営に携わる企業のクラフトビールや地酒、菓子などを集めている。また、返礼品カタログや特設サイトでは、卒業生が返礼品に込めた思いや大学へのメッセージも紹介。OB・OGが同窓生の活躍を知り、楽しみながら母校を支援できる。同大学への個人寄付の多くは返礼品付き寄付制度だという。

この制度のメリットは、金額以上に「つながりの創出」にあると石原財務部長は話す。「これまでは高齢の高額寄付者が多かったが、『SHIBAURA GIFT』は小口寄付をしやすいため、寄付者の裾野を若い卒業生にまで広げることができている。今後、若い卒業生と息の長い関係を築くためのしくみとしても活用していきたい」。

▲返礼品カタログをつくり、大学広報誌に同梱して卒業生に送付する。

▶ウェブサイトの商品紹介ページ。出品した卒業生のメッセージを掲載しているものもある。

